

月刊 きょうと教育通信

Vol. 32 平成17年9月号 発行:京都市教育委員会総務課(222-3768)

京都市教育委員会のHPは<http://www.edu.city.kyoto.jp/>でご覧いただけます。広報資料は毎日更新しています。

第7回

「地域教育フォーラム・イン京都」

～2日間、6,500人が熱く議論！広がる感動！

8月22日・23日、「協力から協同へ、参加から参画へ」をメインテーマに地域教育フォーラム・イン京都を開催。教職員、保護者、地域の方々、そして過去最多の32都府県から、約6,500名が一堂に会し、京都の教育実践等を基に、これからの日本の教育について熱い議論が交わされました。

紫野高吹奏楽部の元気な演奏で幕を開け、鍵山秀三郎「日本を美しくする会」相談役が「小さな自信を大きく育てる」と題して、長年の実践を通して構築された掃除哲学をわかりやすく講演。「継続する力」「耐える力」などの目に見えない力を子どもたちに育むことの大切さを訴えられ、参加者全員に大きな感動と教訓を与えられました。

2日目は、弥栄中学生等による人権劇「生き

る・4」を上演。生徒の迫真の演技に思わず感涙する参加者も少なくありませんでした。

また、中学生の社会体験活動「生き方探究・チャレンジ体験」の成果報告にも多くの賛同の声が寄せられました。

午後には2日間で計12の分科会を行い、地域ぐるみで取り組む本市の実践に、参加者から「京都の先進性を改めて実感した。」等の高い評価をいただくとともに、参加者が共に考え、語り、行動につながる貴重な場となりました。



鍵山秀三郎氏の講演に聞き入る全国の参加者
ご意見・お問合せ＝地域教育専門主事室(254-5007)

～京都発！世界の人とつながるために～

小学校英語教育国際シンポジウム開催

8月24日、26都府県から560人の保護者や教職員等を迎え、世界的に重要視されている初等段階での英語教育の方向性や可能性を共に考える小学校英語教育国際シンポジウムを、全国で初めて、開催しました。

岩倉南小児童122人が英語による歌唱やチャンツを生き生きとステージで披露。続いて、ダニエル・カール氏の講演、世界5カ国のシンポジストによる意見交換が行なわれ、国語の習得方法や我が国の英語教育の課題等について、海外の事例や体験談を交えて活発な交流が図られました。「子どもたちの英語を楽しむ様子に励まされた」「言葉の大切さを改めて考えさせられた」との声。本市の取組を全国からも評価される有意義な場となり、小学校英語教育の重要性が確立されました。



ご意見・お問合せ＝カリキュラム開発支援センター(371-2341)

《8月の主なできごと》

- 7日 京都議定書発効記念イベント「みんなで守ろう！私たちの地球と未来」。地球環境問題についての講演、ワークショップ。
- 18日 高齢者福祉施設を併設した堀川高校本能学舎竣工式。
- 30日 西総合養護学校校庭芝生化完成式。NPO「芝生スクール京都」の全面協力により、20周年への素晴らしいプレゼント。

「緑のカーテン」を7校で実施

環境学習や地球温暖化防止の観点から校舎壁面を緑化する「緑のカーテン事業」を今年度7校で実施。アサガオやヘチマ、ゴーヤなどを栽培し、室温の低下などの効果がありました。今後、今回の成果をもとにさらに実施校を拡大します。



アサガオが3階まで伸びた醍醐中の校舎

御池シンボルロードにふさわしい「賑わい施設」 京都御池中学校・複合施設 出店店舗が決定！

子どもからお年寄りまで、障害のある人もない人も共に集う「世代間交流・共生のまちづくりの拠点施設」として計画を進めている京都御池中学校と乳幼児保育所・老人デイサービスセンター等との複合施設の「賑わい施設」の店舗が決定。これは、本市とＰＦＩ事業契約を締結している民間事業者が京都商工会議所等と協議のうえ、３店舗を選定・決定したものです。

３店舗はイタリアンレストラン、イタリアを中心とする靴・日用品雑貨等の小売店、オープンカフェを備えたパン類の販売を行う飲食店となりました。

また、御池通りに面した外観は、姉妹都市４０周年と経済界等が進めるフィレンツェとの交

流を踏まえ、また御池シンボルロードにふさわしい賑わい施設のモデルとなるよう、京都と北イタリアに共通する文化と歴史をデザインモチーフとし、自然石の仕上げとなります。

来年４月の中学校移転・複合施設開設に向け、障害のある子どもたちの雇用につなげていくことも検討され、経済界も参画いただいた「市立総合養護学校デュアルシステム」の連携も検討されております。京都ならではの共生の街をめざし、着々と整備が進められています。



出店予定店舗等の概観
イメージ図

ご意見・お問合せ＝京都御池中学校・複合施設建設室（２１３-１０１９）

文部科学省採用前勉強会で 門川大作教育長が講演！



京都市の教育から学ば
うと集まった方々

文部科学省で初めての採用前勉強会が、８月１７日、二条城二の丸御殿等において、全国から集まった３０名を対象に実施されました。

冒頭、門川大作教育長が講演で、国に先駆けて学校を創設した先人達の足跡から、今日、「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」信念の下、明日の日本の教育を京都から創り上げていくとの気概で、全国に先駆けて行っている本市教育改革を説明し、人づくりに懸ける熱い思いを力強く訴えました。

その後、子どもみらい館、御所南小、パトナ、洛風中、堀川高などを視察し、真剣な眼差しを注ぎ、積極的に質問を行っていました。

これから国の教育施策に携わっていく参加者たちからは、京都の活力を肌で感じ、大いに刺激を受ける実り多い勉強会であったとの多くの声が聞かれました。

ご意見・お問合せ＝総務課（２２２-３７６７）

政令指定都市初！ 中学校全普通教室冷房化完了 来夏には全小学校も！計画を２年半短縮！

厳しい財政状況の中、学力向上など子どもたちの学習環境改善のため、巨額の経費を投入して、推進している中学校への冷房化が完了。あわせて、各学校での使用に際し、地球環境に配慮するため、京都市立中学校空調設備運用指針が示されました。

今年度、授業日数確保のため、夏休みが各学校で短縮され、また全小中学校で平均７日、最高２５日のきめ細かな補習学習が取り組まれるなど、暑さの厳しい夏季における授業等が増える中、学校現場から大歓迎されています。高校、総合養護学校に引き続き、平成１６年度から５ヶ年計画で、順次、小・中学校の全普通教室に空調設備の導入を計画しているものです。

今後、対象教室が約２、５００室と膨大な小学校について、全国で初めての冷房化事業へのＰＦＩ手法導入により、当初の５年計画を２年半短縮し、来年８月２４日の完了を目指します。

ご意見・お問合せ＝教育環境整備室（２２２-３７９１）